



おすすめの本 11月号

<小学1・2年>



『こぐまのいばしょ』

ブリッタ・テッケントラップ作、三原 泉 訳

ビーエスしゅつぱん
 BL出版

こぐまは居心地のいい森で幸せに暮らしていましたが、火事が起きて、森にいられなくなってしまいます。歩き続け、別の森にたどり着いたこぐまですが、大好きだった森とは何もかも違うので、心細くなって泣き出してしまい…。

<小学3・4年>



『ぼくがぼくに变身する方法』

やませ たかゆき作、はせがわ はっち 絵

いわさきしよてん
 岩崎書店

フリーマーケットで「变身ベルト」を手に入れたタクミ。腰に巻き、変身ポーズでジャンプしたら、なんとサンダー仮面に变身した！？でも、もどり方がわからなくて…。

<小学5・6年>



『ホオズキくんのオバケ事件簿 7』

とみやす ようこさく、こまつ よしか え
 富安 陽子作、小松 良佳 絵

ポプラ社

3学期が終わる直前、ホオズキくんが突然引っ越してしまっただけにも知らなかったマサキとおマツは大ショック。ところが、ホオズキくんがふたりを迎えに来て…。ミステリアスかつユーモラスな、オバケをめぐる事件簿。

<全学年>



『読書バリアフリー 1』

しらさか よういちかんしゅう
 白坂 洋一 監修

ちようぶんしゃ
 汐文社

視覚障害、アーレンシンドロームなど、さまざまな理由で本を読むことが困難な人たちのために工夫されたバリアフリー図書や設備・道具を紹介。1は、点字図書・点字絵本、大活字本などを取り上げる。

<小学1・2年>



『パインさんのむらさきのいえ』

レオナード・ケスラーさく、小宮 ゆう やく
 大日本図書

パインさんはパイン通りにある、小さな白い家に住んでいます。しかし、この通りには50軒も白い家が並んでいました。パインさんは、目印として庭にマツの木とツツジを植えますが…。パインさんシリーズ第2弾。



『ねこのオーランド魔法のじゅうたん』

キャスリーン・ヘイルさく、こみや ゆう やく
 好学社

ねこのオーランド一家と暮らす、空と魔法のじゅうたんねこのファティマが、ホームシックになってしまいました。故郷ベルシャへの帰郷に同行したオーランド一家は、道中でアラブの大金持ちのハツサンという馬と出会い…。



『はたらく本屋』

よしだ あきひとしん、やはぎ たもんぶん
 吉田 亮人 写真、矢萩 多聞文
 創元社

朝、お店の中では、届いたばかりの新しい本がぎっしり詰まった箱が行ったり来たり。急げ急げ、もうすぐ10時。お客さんがやってくる。地域の人たちに愛される、大阪にあるちいさな本屋「長谷川書店」の1日を写真で紹介。

<小学3・4年>



『サケの旅』

ひらい ゆうのすけしんぶん
 平井 佑之介 写真・文
 ぶんいっしようしゅつぱん
 文一総合出版

川をさかのぼり命をかけて産卵するサケ。卵からかえった赤ちゃんは海へと旅立ち…。東日本大震災の影響を受けた岩手県内の川で生まれ、海へと旅立つサケの生態を追った写真絵本。サケの一生や体の特徴が詳しくわかるQ & A付き。



『わかったさんのスイートポテト』

ながい いくこさくえ てらむら てらおけんあん
 永井 郁子 作絵、寺村 輝夫 原案
 しゃほつ
 あかね書房

サツマイモ掘りを手伝ったわかったさん。スイートポテトが食べたいというヤーぼっちゃんのため、仲間と一緒に走り回ること！？レシピ付き。作家・寺村輝夫の世界を、永井郁子が受けついで物語と絵を描いた新シリーズ。



『いばらの髪ノラ 3』

ひなた りえこさく よしだ ひきのりえ
 日向 理恵子 作、吉田 尚令 絵
 どうしんしゃ
 童心社

「あたしが助ける。ぜんぶの魔法をつかってでも」はじめて神炉の恵みをうけたくあかつき町の町で、ノラは父が書き残した本のなかにく黄金の心臓の手がかりを探す。魔女と人間が共に生きるその道筋は…。

<小学5・6年>



『中国のフェアリー・テール』

ローレンス・ハウスマン作、松岡 享子 訳
 ぶんいっしようしゅつぱん
 福音館書店

少年ティキ・ブーは、下働きをしている画塾にある300年前の画家の傑作に憧れ、人目を忍んで絵を描くようになり…。美しい少年と、はるか昔に世を去った偉大な画家との時を超えた交流を美しく描く物語。



『クロニクル古の闇 8』

ミシェル・バイヴァー作、さくま ゆみこ 訳、酒井 駒子 装画
 ぶんいっしようしゅつぱん
 評論社

紀元前4000年の太古の世界。巨大なカミナリ星が落ち、森のほとんどが焼失してしまった。生き残った氏族たちは、森をよみがえらせる方法をさぐるため、トラクとレンを深い森へと送り出した…。



『自分らしく、あなたらしく』

たかはし うらら 著
 高橋 うらら 著
 さ・えら書房

病気や障がいのある兄弟姉妹をもつ「きょうだい児」。彼らは何を思い、どのような悩みをかかえながら、自分の生きる道を見つけてきたのか。みずからも元きょうだい児である著者が、きょうだい児たちの歩みや活動を描く。